

生駒市医療介護連携ネットワーク協議会
令和8年度 第1回 認知症対策部会 会議録

開催日時	令和8年6月25日（木） 午後2時00分～午後3時30分
開催場所	生駒メディカルセンター 研修室
出席者 （委員）	山上部会長、太田委員、徐委員、古田委員、尾山委員、大谷委員、中田委員、高原委員、笹本委員、森田委員
事務局	地域包括ケア推進課 齊藤課長、田村係長、黒松係長、福本
傍聴	なし
案件	(1) 令和8年度認知症対策部会活動予定について (2) 介護施設やグループホームの見学内容の検討 (3) 多職種連携研修会について (4) 若年性認知症当事者との意見交換に係る事前協議 ※グループワーク
資料	会議次第 （資料1）認知症対策部会員名簿 （資料2）令和8年度認知症対策部会 活動予定 （資料3）介護施設やグループホームの見学について （資料4）令和8年度 多職種連携研修会チラシ （資料5）若年性認知症当事者について
議 事 の 経 過	
発言者	発言内容
事務局	1 開会 齊藤課長より挨拶 部会員のご紹介 事務局紹介 会議の公開、録音了承
部会長 事務局	2 案件 案件(1) 令和8年度認知症対策部会活動予定について （資料2に基づき事務局から説明） ・医療従事者等による介護施設やグループホームの見学・意見交換会への参加 ・多職種連携研修会の開催（7月） ・一般市民向けフォーラムの開催（9月） ・認知症当事者との意見交換会

部会員 事務局	意見① 9月の市民フォーラムの日にちは決まっているか。 →9月13日午後に第1部、第2部と開催する予定。
部会長 事務局	案件(2) 介護施設やグループホームの見学内容の検討 (資料3に基づき事務局から説明) ・運営推進会議は、利用者、市役所職員、地域住民、施設関係者などが参加し、提供しているサービスの内容や運営状況を共有確認する会議であり、現場での具体的なケースの共有やご家族からの率直なご意見も交わされており、非常に実りある場となっている。 ・昨年度は4施設を見学し、多くのご意見をいただいた。特に運営推進会議に地域の方が積極的に参加していることを初めて知ったという意見や、参加者が生き生きと発言している様子が印象的だったという感想が多かった。 ・今年度も見学を継続していきたい。地域包括ケア推進課と運営推進会議の主担当課である介護保険課と協議した結果、2つの施設に絞って実施することとする。
部会員	意見① 実際に部会員が参加して意見を述べるのは難しいかも知れないが、何か思うところがあったら発言し、率直に意見をいただきたいと施設の方もおっしゃられていた。 意見② 前年度は見学する施設が割り当てられていたが、今年度は都合がつく方に参加するのか、前年度と同じように割り当てられるのかどちらか？ 参加する際、部会員以外のスタッフが勉強のために同伴することは可能なのか？ →部会員の皆さんが希望する日程、人数を施設側とすり合わせ、スケジュールを決めていきたい。部会員以外のスタッフが参加してもよいか施設側に確認する。後日、メールでやり取りします。 意見③ 本人ミーティングを見学したいので日程を教えてほしい。 →本人ミーティングの日程が記載されているチラシを送付します。
事務局	
部会長 事務局	案件(3) 多職種連携研修会について (資料4に基づき事務局から説明) ・7月14日の火曜日14時から、多職種連携研修会を開催する。この研修会は、生駒市居宅介護支援事業者協会介護支援研修会との合同開催であり、さらに生駒市役所地域医療課の在宅医療推進部会との合同開催でもある。 ・参加対象者は市内の医療機関職員、地域包括支援センターの職員、居宅介護支援事業所の職員。 ・昨年度改定したケアパスを題材に、グループワークを実施する。部会員の皆様にはグループワークの進行を補助していただくなど、ファシリテーターとして協力をお願いしたいと考えている。可能な限り出席し協力いただきたい。 特に意見なし

部会長 事務局	案件(4) 若年性認知症当事者との意見交換に係る事前協議 ※グループワーク (資料5に基づき事務局から説明) ・認知症当事者と部会員の皆様が直接対話し、その声を今後の施策にどのように反映していくかについてご検討いただくため。 ・令和6年1月に、共生社会の実現を推進するための認知症基本法が施行された。認知症基本法では、市町村に対して、認知症施策推進計画の策定が努力義務と課せられている。生駒市ではこれを踏まえ、生駒市高齢者福祉計画・第10期の介護保険事業計画と、一体的に策定・運用していく予定である。 ・認知症施策推進計画を策定するために、当事者の方100名および当事者の家族へのアンケートを実施した。次回の部会でアンケート結果を共有したい。 ・生駒市では本人ミーティングの開催に力を入れている。当事者が主体的に意見を言える場所かつ居心地の良い場所になっている。コミュニティセンターでの本人ミーティングは当事者の方が10名以上集まる日もある。意見交換会に来ていただく若年性認知症当事者の方も本人ミーティングに参加している。 ・昨年度改定したケアパスには、各地域包括支援センターの認知症地域支援推進員の皆様が集めてきてくださった本人の思いや家族の思いを載せている。当事者や家族の視点から読むことができる冊子を作成し、認知症の人にとって、日常生活または社会生活を営む上での障壁を取り除くことを具体的に取組んだ。 ・若年性認知症当事者の方の紹介。 (グループワークの手順) ① 当事者に直接聞いてみたいことを付箋に書く。 ② 似ている質問をグループ化する。 ③ 当日聞きたいことを整理する。 長時間にわたりましてグループワーク等ありがとうございました。 記入いただいた質問は市役所でまとめます。 ではこれもちまして、第1回の認知症部会は終了させていただきます。ありがとうございました。 15:30閉会
--------------------	---